

第1回定例会

予算特別委員会質疑については、主なものを要約し掲載しました。

・ 予算特別委員会質疑の中から①

予算特別委員会質疑の中から

総務費

(質) 公用車購入事業で3台中2台を中古車とした理由は、

(答) 平成17年の行財政改革から経費削減のため中古車を導入してきており、新車登録から2〜3年経過、2万キロ前後の比較的新しい中古車を購入しています。

今後については、環境対策等からハイブリッド車の導入を進めたいが、財政的な問題もあることから購入台数が単年度に複数台あるような場合は中古車も含めて更新していきたい。

(質) 紋別空港の町民利用者数は、また、利用者を増やすためには増便が必要だと思うが状況はどうか。

(答) 町民の利用者数は押さえていませんが、町が行っている助成件数として把握している数では、平成25年4月から10月までの実績として27名、助成金額として26万5000円となっています。



町民の利用に対し運賃助成がある紋別空港

増便については、1日1便でも搭乗率が低く、冬期間は東京直行便を休止し経由便になっている状況から非常に厳しい状況だろうと考えています。

(質) ひとまちづくりの振興事業推進委員会の構成、任期及び開催頻度は、また、事業費補助金の主な内容は、

(答) 委員は規則によって8名委嘱しており任期は2年となっています。委員会の開催は、補助対象事業の計画が出てきた都度開催することとしています。事業費補助金として予算計上している与論島

派遣事業と江東区民まつりへの住民参加事業は、毎年事業を実施しているということで継続という形で承認をいただいているため委員会の開催は行っていません。

なお、与論島への派遣については定員16名、江東区民まつりについては町民5名となっています。



与論島で友達と貴重な体験をする子供たち

(質) 27年度パーマ市との姉妹都市交流が35周年を迎えるが、どのような事業を考えているのか。また、姉妹都市交流委員会との連携は、

(答) パーマ市とは5年おきに周年事業として式典を行っ



平成22年に行われた30周年記念式典

ており、30周年については佐呂間町で実施、35周年は佐呂間町からパーマ市のほうに出向き式典を行う順番となります。

式典の概要などについてはまだ把握していませんが、今年度中にパーマ市の意向も確認しながら佐呂間町からの訪問団を送り有効な交流をしたいと考えています。

また、佐呂間町パーマ市姉妹都市交流委員会の活動実態を把握し、民間を含めた訪問団として派遣できるように準備を進めていきたい。

第1回定例会

・ 予算特別委員会質疑の中から②

(質) 通学用ハイヤー運行業務委託料の予算額が昨年度と比べ増えているがどのような理由からか。また、何名の方が利用するのか。

(答) 若佐小及び浜佐呂間小で1年生が各1名増加し、在校生との下校時間の違いによる増便や新たに登校時に運行することにより増額しています。なお、その後、1名の新入学児童が別の学校に入学することになり、運行実績では予算よりも少なくなる見込みです。

衛生費

(質) クリニックをまと調剤薬局は同一敷地内で建設すると聞いていたが、調剤薬局の建設場所が変更されるのか。

(答) 当初計画では同一敷地内として駐車場を挟んだクリニックの北側に建設する予定でしたが、最近の情報では同一敷地内での許可は難しくなってきたとのことなので、クリニックから道路を挟んだ東側、図書館の横で再検討しており、今後調剤薬局の事業者が決定されたら、その

事業者の意見も聞きたいと考えています。

また、建物の規模についても、将来的に在宅訪問診療をしていく上で対応可能なものとするには、現計画の規模では手狭なことからこのことも含めて検討していきたい。

農林水産業費

(質) キムアネップ岬沖大瀬航路浚渫事業について詳しく説明してほしい。

(答) 浜佐呂間漁港を利用している方が、養殖施設などに向かうときに通る最短航路がキムアネップ岬沖ですが、その航路に砂が堆積し船底が当たってしまう場所があり危険なため、少しずつ迂回する形で航行している状況です。

このまま砂の堆積が進んでいくとさらに遠回りを余儀なくされ、魚介類の鮮度の問題や燃料費の増加などによる漁業経営への影響が懸念されることから、航路に溜まった砂を撤去することとし、常呂漁協が実施するその事業に対し町が応分の助成を行うものです。

商工費

(質) 中小企業振興資金利子補給費補助金の予算額は何件分なのか。

(答) 現在のところ49件利用しています。

消防費

(質) 町内で年間のドクターヘリ出動要請は何件で臨時ヘリポートは何か所あるのか。

また、ドクターヘリ要請は消防が行うのか、医師が行うのか。

(答) 遠軽地区広域組合全体では24年が要請39件、出動22件、25年は要請34件、出動22件で、町内では24年要請1件、出動1件、25年要請2件、出動2件となっていますが、いずれも途中でキャンセルしており、実際に佐呂間に来たのは先日が初めてです。臨時ヘリポートは、町内に7か所あります。

ドクターヘリ出動までの流れは、まず第1報は119番により広域組合(遠軽)に入り、そこからの指令で消防署

議会を傍聴してみませんか!!

第2回定例会は6月に開催されます

詳しくは議会事務局にお尋ねください



第1回定例会

・予算特別委員会質疑の中から③

佐呂間出張所から救急出動し、現場の状況を聞いた上で広域組合からドクターヘリの出動要請を行います。なお、佐呂間町の管轄は旭川となっております。



旭川赤十字病院から飛び立つドクターヘリ

教育費

(質) 児童・生徒の学力向上のための方策として、土曜授業を行う考えはあるか。もしも行う場合、新たな経費(人件費)は発生するのか。

(答) 土曜授業は、少年団活動や部活動などがあるので実施するのは大変厳しいと考えており、できれば学力向上推進委員会を立ち上げ、どういった対策をとれば学力向上につ

ながるか検討していきたいと考えています。

経費については、教育課程の中で年間10日間程度行う場合は、教師が夏休み等の長期休業期間に休みを振り替えることで対応できるので、新たな経費はかかりませんが、社会教育事業として地域の方にお願いする場合には必要となります。

(質) 姉妹校派遣事業に参加する生徒が減少している要因は何か。

(答) 生徒数が減少したことで、その期間一人が抜けてしまつと部活動での大会参加が難しくなるなどの要因も一つあると思いますが、一番大きいのはパーマ市からの子供たちの受け入れをパーマ市へ行った子供の家庭が引き受けることが原則となっているため、子供たちに行きたい気持ちがあつても、その後の受け入れが難しいといった状況があり、希望者が出てこないといった実態があると思います。

(質) 姉妹校派遣事業の参加者を増やすため、受け入れ先が見つからない状況であれば、子供

がない家庭での受け入れも考慮しては。

また、パーマへ行った方や受け入れをした方の体験なども交えながら、言葉が通じなくても何とかなることを周知していったほうがいいか。

(答) 子供同士の交流が最も大切なので、パーマ市へ行った子供の家庭でなくても子供がいる家庭が望ましいと思いますが、どうしても見つからない場合は子供がいない家庭でもやむを得ないと思います。

周知については、今までも受け入れ経験がある家庭から、それぞれお話をいただいている部分はありますが、今後とも続けていきたいと思っています。

(質) 図書の間購入数及び図書館利用者数は。また、富武土地区の移動図書館の状況は。

(答) 図書は、年間3000冊ほど購入しています。来館者については、土曜、日曜は少ないが、平日は1日50人弱の方が利用しています。

富武土地区の移動図書館は、利用がないということ取り止めになったかと思



1日に50人ほどの利用がある図書館

国民健康保険

(質) 国民健康保険特別会計への一般会計からの持ち出しが非常に多く1億円を超えているが、今後どう推移していくと考えるか。

(答) 一般会計からの繰入金には国民健康保険特別会計の赤字補てん分となりますが、国民健康保険税の税率を上げるとなると特に中間所得の方の負担が多くなること、また、国民健康保険の基金も年ごとに少なくなっている状況から一般会計からの繰り入れをしているところであり、今後も簡単には解消できないものと思